

特定希少野生動植物ツクシガヤ保護管理事業計画の概要

◆ 保護管理事業計画とは ◆

- ・ 奈良県希少野生動植物の保護に関する条例 第 30 条に基づく計画
- ・ 特定希少野生動植物の保護管理事業を適正かつ効果的に実施するために策定

◆ 策定の経過 ◆

- 平成 25 年 8 月 1 日 計画策定調査業務委託契約（委託先：環境科学大阪株式会社）
- 平成 26 年 1 月 15 日 奈良県希少野生動植物保護専門員会議にて計画案の協議
- 2 月 12 日 奈良県自然環境保全審議会自然保護部会にて計画案の審議
- 3 月 28 日 計画の策定

◆ ツクシガヤとは ◆

- ・ 水湿地に生育するイネ科の多年草
- ・ 草丈は 100～120 cm程度

◆ 分 布 ◆

- ・ 国内では秋田県・山形県・福井県・兵庫県・奈良県・九州に隔離分布
- ・ 本県の生育地は 1 箇所とされていたが、今回の調査の結果、既知生育地近傍において新たに 2 箇所の生育地が確認される

◆ 生活史 ◆

- ・ 春 期……葉を出し生長をはじめる
- ・ 8～10 月……花期
- ・ 秋 期……種子を散布する
- ・ 冬 期……地上部が枯れる



ツクシガヤ

写真提供：尾上聖子氏



ツクシガヤの小穂



ツクシガヤの円錐花序

◆ 保護管理事業計画 ◆

I. 生育地の現状と課題

- ・ 県内の生育地は 3 箇所(※)、生育個体数は合計 17 個体
※それぞれは相互に近接 → 分布は局所的で、生育地の規模が小さい
- ・ いずれの生育地も周囲の樹林の生長によって日照条件が悪化
→ 生育状態の悪化、個体数の減少
- ・ 愛好者による採集で絶滅を招く危険性がある（現在、生育地は非公表）

II. ツクシガヤの生育環境

- 【 県内生育地の環境 】 池の浅水域や湿地、地表の浅い位置に砂礫層、周囲の樹林の陰
- 【 好適と考えられる環境 】 浅水域から湿地、砂礫質、日当たりがよい、競合種が侵入しにくい

III. 保護計画の基本方針

- ・ 生育地の巡視
- ・ 生育地の環境改善
- ・ 分布の把握
- ・ 生息域外保全の実施
- ・ 増殖個体の補植および再導入
- ・ 啓発・協働活動

IV. 事業の目標

1. 当面の目標（2015 年度達成目標）
現存する生育地の把握とその保全による絶滅の回避
2. 中期目標（2018 年度達成目標）
生息域外保全の推進による絶滅リスクの低減
3. 長期目標（2021 年度達成目標）
県民等への啓発活動を通じた保護意識の高揚と協働による保全の展開

V. 事業の区域

- 県内の本種の生育する地域あるいは生育の可能性のある地域
（主として奈良盆地東縁丘陵付近および大和川水系の河川）

VI. 事業の内容

- ・ 生育地の巡視……希少野生動植物保護巡視員または巡視団体による生育地の巡視等
- ・ 生育地の環境改善……周囲木の伐採による生育地の日照条件の改善等
- ・ 分布の把握……調査が十分実施されていない地域における本種の分布調査や情報収集
- ・ 生息域外保全の実施……研究機関等において系統保存等を目的とした種子保存や栽培増殖等
- ・ 増殖個体の補植および再導入……系統保存されている増殖個体の補植・再導入による本県個体群の再構築と生育地再生の検討
- ・ 啓発・協働活動……自主的な保全活動の展開を図るため地域住民等を対象に学習会の開催
地域の学校や企業などへ協力を要請し、ビオトープ造成などの協働活動